

# 神森(女子)美東(男子) V

## 県中学秋季ハンド

中学ハンドボールの八重瀬町長杯争奪第33回県中学秋季大会最終日は1日、

り、女子は神森が2年ぶり10度目の頂点に立った。  
【男子】  
▽3回戦  
美豊宮浦宜浦神  
見城里添湾西森  
東城里添湾西森  
31 28 31 29 32 71  
18 26 20 16 18 9  
具嘉港伊冲普  
志良縄天  
川数川波東間



女子決勝。神森―港川 力強いシュートで得点を奪う神森の東江華奈(11日、八重瀬町東風平運動公園体育館(平安太)撮影)

### 気迫の守備 1点差守る

最後は全員で守りきった。女子決勝。試合終了まで30秒を切つて、神森のリードはわずか1点だった。タイムアウトを挟み港川ボールでゲームが再開すると、神森の安村菜々乃主将は「絶対に1点も取らせない」と心に誓った。神森の各選手が声を出し合い、堅実な守りで相手のシュートミスを誘つと、直後に試合終了のブザーが鳴った。「みんなが最後に粘り強くディフェンスしたことが良かった」。安村は笑顔で試合を振り返った。

決勝のゴールを決めたのは1年生の宮里真帆だった。22―22で迎えた後半24分17秒、右サイドでパスを受け、「絶対に決める」と気迫のこもったシュートでゴールネットを揺らした。「先輩のパスが良かった」と周囲のサポートに感謝し、「これからも自分のプレーをしてチームの役に立ちたい」とはにかんだ。

苦しい時間もあった。後半の立ち上がりは港川の猛攻を受けた。「相手に得点されて焦ってしまった」と安村。悪い流れにのまれろになつたが、東江華奈が積極的な攻めでチームを引っ張った。

新チームが始動して最初の大会で栄冠を手にし、安村は「これからの勝負だ」と気合を入れ直す。「気を抜かずに練習を続けなければいけない」と語る瞳には、強豪校の伝統を引き継ぐ決意がこもっていた。(平安太)

美東	宮里	神森	美東	美東	宮里	浦添	神森
27	30	35	33	33	38	30	39
1116	4 3 延 1112	2213	1914	33	38	30	39
1115	3 0 長 1211	16 9	10 7	27	20	17	32
26	26	25	17	松	豊	宜	浦
神	浦	浦	宮	見	豊	宜	浦
森	添	添	里	島	城	湾	西



男子決勝。神森―美東 速攻からシュートを決める美東の西田智哉

### ライバルに雪辱 美東

○：男子の美東がライバルを破って頂点に立った。決勝で戦った神森は小学校も優勝を阻まれたと苦しい時代から何度も顔を合わせている相手だった。美東の大城が「緊張した」と振り返る試合序盤は接戦となつたが、後半に入ると美東がペースを握つた。ゴールキーパーの大城は難しいシュートを何度も止め、味方の攻撃にリズムをつけた。西田智哉はパスカットから速攻で得点するなど、随所で存在感を示した。大城は「神森に勝ててうれしい」と喜ぶ。それでも「終盤に集中力が切れた」と課題を指摘し、「しっかりと直したい」と語った。

港川	神森	仲西	港川	浦添	神森
30	34	39	30	24	22
1416	19	10	9	19	111
7 8	具	冲	東	伊	111
15	志	縄	良	良	8
浦	川	東	平	波	13
添	川	東	波	波	仲
添	川	東	波	波	西

大城は「神森に勝ててうれしい」と喜ぶ。それでも「終盤に集中力が切れた」と課題を指摘し、「しっかりと直したい」と語った。